

各位

「グラウンドを作ろう」プロジェクトへのご支援のお願い

熊本地震で益城町は甚大な被害を受けました。行政を中心に多くの方々の復旧活動は行われていますが、「益城町震災復興基本方針」によると復興には10年が掛かると記載されているのが現状です。

特に自立して行動する事の出来ない小学生が体を動かす場所は、ほとんどないのが現状です。原因は、仮設住宅地、廃材/瓦礫置き場として既存のグラウンドを使用している事、液状化や地割れなどによるグラウンドの閉鎖が挙げられます。

また平日の放課後の活動場所である町内の小学校にはナイター設備がどこにもありません。

そこで自力移動に制限があり、成長年代（ゴールデンエイジ）である小学生にフォーカスし、グラウンド建設を町外の民間ネットワークで建設する事を考えました。

（屋外）競技人口の多い野球とサッカーでグラウンド建設の検討を行った結果、野球グラウンドは「扇型」でいびつな形である事、グラウンドの中央に「マウンド」があり汎用性に欠けると判断し、サッカーグラウンドの建設を企画立案しました。

現在、益城町で活動する小学生サッカーチームは、仕事を終えた社会人のボランティアコーチで練習が成り立っており、練習は夕方以降のため照明は必須となります。

そのため、照明付きグラウンドの建設が望ましいと言う結論に至りました。

まだまだ行政は復旧の時期にある益城町にとって、グラウンドは「復興」のシンボルとして町民の復旧復興の活力となる勇気や元気の源になると考えています。

グラウンド完成後の使用用途は、早朝はグラウンドゴルフや体操などのご高齢者、日中は園児の園庭や幼児の広場、夕方は小学生のキャッチボールなど、誰もが自由に活用できるように無料開放を行いたいと考えています。*団体予約は有料。

また緊急時には一時避難所やヘリポートとしての活用も行政に提案したいと思います。

このプロジェクトは、なるべく少額の寄付金で建設をする為に、必要資材の無償提供や原価でのご提供など、企業様から最大限のご支援を受け、ボランティア活動による人件費の削減にも努め、一日も早く実現を目指したいと考えています。

以上の趣旨をご理解いただき、上記実現の為に多くの方々よりご支援を受け賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2017年1月10日

特定非営利活動法人 Charity.org 九州支部

記

1. 寄付プロジェクト名

「グラウンドを作ろう」

2. 設置目的

「体を動かす事でのストレスの発散」「体を動かす事での発育の補助」
「人が集まる事でのコミュニティの活性化」を目的とした町民が誰でも使用できる
グラウンド建設する。

3. 建設予定地

熊本県上益城郡益城町平田

4. 寄付設置期間

2017年1月10日～2019年4月13日

5. 寄付による運営経費等

照明建設に必要な一切の経費（建設資材や道具の購入、交通費、工事費など）を寄付で
負担をする。

*建設資材・・・LED照明、防球ネット、コンテナハウス、水道、トイレ、駐車場など

6. 目標金額

総額 ¥900万円 *見積書は順次添付

7. プロジェクト寄付窓口

特定非営利活動法人 Charity.org 九州支部

8. 「グラウンドを作ろう」専用振込口座

みずほ銀行 恵比寿支店 普通口座 1687999

特定非営利活動法人 charity.org

ホームページ <https://npo-charity.org/>

9. 支援企業実績

ATHLETA アビスパ福岡 イオングループ 大泉工場 大井製作所 カネハツ食品
共栄 桑原雷声堂 キンコーズ コスギ不動産 創生環境 ニチバン
日本メドトロニック 福島民報 富士通九州システムズ 四ツ葉建築
ロアッソ熊本 山鹿市

*アイウエオ順 *敬称略

以上